

(様式1)

北海道留寿都高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 農業クラブ活動の活性化、専門的な知識・技能習得のための各種資格・検定取得の推進し、アグリマイスター顕彰制度の推奨、農業教育の質を向上させます。	B	(1) 日本農業技術検定3級の合格率80%以上、情報処理検定等資格取得率向上に向け、計画的な学習指導と指導体制を強化する。 (2) 農業クラブの各種大会(意見発表・技術競技・実績発表)への挑戦を促し、計画的な指導のもと地域大会での入賞を目指す。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 国際農業コースの特色を活かした教科指導の充実と、国際的視野を持つ持続可能な農業人材の育成を目指します。	B	(1) 国際農業コースにて、GAPを意識した実習を行うとともに、学校設定科目「国際農業」にて国際的な農業課題に対する主体的・協働的な解決力を養う。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) JGAP 基準に基づいた農場管理の徹底と、持続可能な農業を推進します。 (2) 現場実習を通して、地域農業の担い手の育成を目指します。	B	(1) JGAP 認証を体系的に学ぶ機会を実施するとともに、更新に向けて圃場環境の改善を進める。 (2) 農家委託実習を実施し、地域農業の担い手として必要な勤労観・職業観を育む。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) プロジェクト学習にて地域の課題や、新たな魅力発信に向けた取り組みを推進します。 (2) 地域の農業と連携し、6次産業を学ぶ機会を創出します。	B	(1) 地域と連携したプロジェクト活動を実施し、その成果を発信する。 (2) 外部機関と連携し、6次産業を学ぶ機会を設ける。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) SDGs の達成に寄与するため、GAP の基準に基づいた農場づくりを実践します。	B	(1) GAP に基づいた圃場を実践するとともに、GAP 学習の充実化を図る。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 村内のすべての教育機関や福祉機関等と、農業を中心とした連携・交流活動を実践します。	B	(1) 村の保育園、小学校、中学校、社会福祉協議会と連携した農業交流を実施し、地域振興に取り組む。
IV 拠点となる学校の	7 「Society5.0 の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICT を用いた授業を農業科目にて実践し、スマート農業に関する学習の充実・発展に繋がります。	A	(1) 圃場にて一人一台端末を活用した情報共有の簡易化を図り、スマート農業の実践を目指す。
V 推進する学校の	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 学校全体にて安全教育を徹底し、防災意識を高める教育を展開します。	B	(1) 圃場にて GAP の労働安全に準じた改善、掲示を行い、「安全な農場づくり」を行う。